

# 令和4年度 第1回 愛知県栄養士会 生涯教育委員会 議事録

日 時：令和4年7月10日（土）10時～12時（9時30～招待開始）

場 所：愛知県栄養士会事務局、Zoom ミーティングプロにてオンライン会議

出席者：酒井、水田（学術部長）、田中、景山、佐藤、吉田（オブザーバー）、上原（副会長）

欠席者：高橋、塩野、岡野

書 記：田中

## 議題

### 1. 日本栄養士会（日栄）2022年度 生涯教育委員会の方針

(1) 2022年7月24日（日）13時より Web 会議

(2) 現在の状況（前委員長吉田明子氏より説明）

\*日栄オンライン 2022年08月01日（月）～2022年08月31日（水）

[WEB] 毎月開催！生涯教育（基幹教育）「基本研修 eラーニング」～8月受講～

研修項目：（基本）国民の健康の増進の総合的な推進 他

\*日栄オンライン 2022年08月01日（月）～2022年08月31日（水）

[WEB] 新規講座開講！生涯教育（基幹教育）基本研修 eラーニング「特定保健指導のABC—きちんと制度を知りましょう—」～8月受講～

研修項目：（基本）国民の健康の増進の総合的な推進

\*日栄オンライン 2022年08月01日（月）～2022年08月31日（水）

[WEB] 毎月開講！生涯教育（基幹教育）「実務研修 eラーニング」～8月受講～

研修項目：（実務）摂食・嚥下機能 他

### 2. 愛知県栄養士会 2022年度 生涯教育研修の方針

平成4年度の公益（3）の（2）資質向上研究・講習会事業に関する方針

会員・非会員を問わず、管理栄養士・栄養士に対して、卒後教育として、食と栄養・健康に関する最新の知識情報を提供する。

#### （1）平成4年度の生涯教育研修の目的に関する追加事項

管理栄養士・栄養士の資質向上のために、各部会の専門業務の見直しと改善に向けた取り組みを行う。研修会ではそのための手法として実践研究方法を習得する。

**追加事項が必要な根拠：**管理栄養士・栄養士の専門業務は栄養学を中心とした関連科学の急激な高度化がすすんでおり、知識のみでなく、優れた実践能力が求められるようになってきている。今後、医療・保健・介護に関わるコ・メディカルスタッフとの多職種連携による業務が一層進展するものと考えられる。また、多職種連携の中で、管理栄養士・栄養士としての専門業務の差別化を図るための最新知識に応じたスキルのレベルアップが不可欠となっている。さらに、専門業務のルーチンワークをこなすだけでなく、業務達成目標に関する確実な成果が問われるようになっている。これらの社会的な要求を達成するための方策として、まず、現状の専門業務の中での課題発見力とその解決力を身に付ける必要がある。

## (2) 愛知県栄養士会生涯教育研修会の名称

愛知県栄養士会生涯教育研修会は日栄の生涯教育研修会と区別をするために次のとおりとする。

### 愛知県栄養士会生涯教育基礎研修（演習）

## (3) 日栄の生涯教育研修会の単位認定

全3日参加で生涯教育基本単位【7：講義2単位、演習2単位】

## (4) 愛知県栄養士会生涯教育基礎研修（演習）のすすめ方

第1回研修会：9月3日（土）9時～12時（180分）ウインクあいち 906

### ①基調講演（40～60分） 講師 名古屋文理大学 後藤千穂先生

実践研究のすすめ方（1）実践研究における問題発見力を養うために必要な学習（先行研究論文の抄読法（論文の背景と目的）等）についての講義：質疑応答を含む）を聴く。

### ②グループワーキング（60分）

部会別に分かれて話し合いを行う。ファシリテーターは各部会から選出された生涯教育委員が努める。基礎研究の参加者（メンバー）は公募を基本とするが、今後、各部会の若手・中堅の中でリーダーとなってもらう人材を勧誘する。各部会5～10名のメンバーを目標とする。各部会別のワーキンググループでの自己紹介、基調講演を参考にして自身や部会全体での業務の見直しを行う。その中で、今後、特にレベルアップが必要な課題を取り上げる。

### ③第1回のふりかえり（30分）

各部会での話題を提供する。別の分野からの質問・意見交換を行う。

その後、次回の研修会に向けたホームワーク（次回の研修内容に向けた宿題）を設定する。第2回は問題解決力の予定。

第2回研修会：10月22日（土）13時30分～17時（210分）ウインクあいち 1007

### ①基調講演（40～60分） 講師 椋山女学園大学 三田有紀子先生

実践研究のすすめ方（2）実践研究における課題解決力（データ解析のための基礎統計（方法と結果）等）を養うために必要な学習についての講義：質疑応答を含む）を聴く。

### ②グループワーキング

課題解決に向けた創造的・科学的な方法について討議法（バズセッション、6・6討議法等）を用いて話し合いを行う。ファシリテーターはできればメンバーから選ぶ。無理であれば生涯教育委員が担当する。

### ③第2回のふりかえり

各部会での話題を提供する。別の部会からの質問・意見による交流を行う。

その後、第3回研修会に向けたホームワークを設定する。第3回か報告書の作成方法の予定。

第3回研修会：11月27日（日）13時30分～17時（210分）ウインクあいち 1108

### ①基調講演（40～60分） 講師 金城学院大学 北森一哉先生

実践研究のすすめ方（3）実践研究における課題のまとめ方（実践研究における論文作成方法のうち考察と結論等）を養うために必要な学習についての講義（40～60分：質疑応答を含む）を聴く。

## ②グループワーキング

課題解決策に関するデータのまとめ方（報告書の書き方、実践研究の書き方等）について討議法（ラウンドテーブルディスカッションでのホームワークの発表等）を用いて話し合いを行う。ファシリテーターはできればメンバーから選ぶ。無理であれば生涯教育委員が担当する。

## ③第3回のふりかえり

各部会での話題を提供する。別の部会からの質問・意見による交流をおこなう。

その後、愛知県栄養士会実践報告会 2022 への投稿について、任意に各部会の研修会において継続して検討をすすめる。各部会から 1 報は提出することを目標とする。

## (5) 研修会費

愛知県栄養士会員 1 回 1,000 円 3 回分をセットで 3,000 円を徴収する。

愛知県外栄養士会員 1 回 1,500 円 3 回分をセットで 4,500 円を徴収する。

栄養士会員以外 1 回 2,500 円 3 回分をセットで 7,500 円を徴収する。

## (6) その他

生涯教育基礎研修（演習）の募集期間

理事会承認後、ホームページに募集要項を掲載し、8 月 15 日（金）を締め切りとする。

## 参考資料 1

### 愛知県栄養士会 各部会の課題の事例

2022年度 生涯教育委員会において取り上げるべき各職域の課題（案）

職域部会名	テーマ（将来の専門業務進展のために取り組むべきテーマ）
医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域医療への他職種連携による取り組みの実態調査</li> <li>* NSTへの取り組みの実態調査（ベットの栄養指導の実績等）</li> <li>* 栄養ケアシステム実績に関する実態調査（栄養指導により病態評価等）</li> </ul>
研究教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 若手研究者（助手・助教）の研究論文の実績や支援体制に関する実態調査（専門分野別研究者の育成の実績）</li> <li>* 実践研究に向けた共同研究の進展への検討</li> <li>* 教育方法の検討（座学からアクティブラーニングへの取り組み、多職種協働の教育への取り組み等）</li> </ul>
学校健康教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 第4次食育活動の取り組みへの課題と評価</li> <li>* TT教育への進展への実態調査</li> <li>* COVID-19後の食育の進展の実態（進展と後退の実態等）</li> </ul>
勤労者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 健康な食事・食環境の認定制度（給食部門）への取り組みの実態調査（全国データは <a href="https://smartmeal.jp/">https://smartmeal.jp/</a>）</li> <li>* 自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に関する取り組み案の検討</li> </ul>
公衆衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 公衆衛生における既存データの活用（解析と評価）に基づく目標設定</li> <li>* マネージメントサイクルに基づく市町村公衆栄養活動における目標設定および評価に関する実態調査</li> <li>* 公衆衛生に関する業務評価方法</li> </ul>
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 地域活動における専門職種の活用に関する実態調査</li> <li>* 栄養ケアステーションの活動実態に関する要因分析</li> </ul>
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 高齢者：介護における栄養ケアの実績と多職種連携による新しい取り組みへの検討課題</li> <li>* 障がい者（児）：地域共生社会への実績評価（第4次障害者基本計画の目標達成に関する評価）</li> </ul>

第 1 回生涯教育基礎研修（演習）の職域グループのワーキングで決定する。

## 参考資料2

### 管理栄養士・栄養士のコンピテンシー

資料：永井成美他：「卒前教育レベルの管理栄養士コンピテンシー測定項目の開発」

栄養学雑誌 70（1）p.49-58、2012

この論文は卒前教育のコンピテンシー項目であるため、職域別コンピテンシーが不十分である。多職種との差別化をはかるために、愛知県栄養士会として職域別にコンピテンシー項目を作成することを今年度の目標とする

職域別コンピテンシー
1. 疫学的な考え方にに基づき、地域のニーズを把握する
2. 地域の栄養課題を解決するのに必要な社会資源を把握する
3. 地域の栄養課題を解決するために、リスクアセスメント、食環境整備の観点を含めて改善計画を立てる
4. 医療における専門職種の役割を理解し、管理栄養士の役割について説明を行う
5. 患者の病状や栄養状態に応じた献立作成や食事形態の提案を行う
6. 患者の病状や栄養状態に応じた栄養指導を行う
7. 多数の人々への食事提供(発注、購買、検収、保管、大量調理、衛生管理等)を行う

### 3. 愛知県栄養士会実践報告会 2022

学術部会との協働により、各職域部会で提案された業務改善に向けたレベルアップに関する課題研究をまとめて、愛知県栄養士会実践報告会 2022 のワーキング形式（ラウンドテーブルディスカッション）の報告会に報告書を提出して発表する（案）。